



平成 31 年 2 月 1 日

大学院生各位
To All Graduate Students

平成 30 年度
基盤医学特論 開講通知
Information on Special Lecture Tokuron 2018

題目：「エボラウイルス病の流行と隔離診療」
Title: **Ebola virus disease and its isolation treatment**

講師：岡本 尚（おかもと たかし）
名古屋市立大学大学院医学研究科名誉教授
Lecturer: Takashi Okamoto MD, PhD
Professor Emeritus, Nagoya City University

日時：平成 31 年 2 月 25 日（月曜日）17 時～18 時 30 分
Time and Date: From 17:00~18:30, Mon, February 25, 2019
会場：基礎別館 修士講義室（301）
Room: Lecture Room 301, Basic Medical Research Building Annex.

Abstract

人類の歴史は感染症との闘いの歴史であったとも言われています。2015 年英国オクスフォード大での世界協議会で地球規模の感染症流行は人類滅亡の三大リスクの一つと考えられています。その中の筆頭であるエボラウイルス病（かつてはエボラ出血熱と呼ばれた）の基礎と臨床を中心に「一類感染症」についての概略をお話します。2000 年の秋にウガンダで起こった 500 名規模のエボラ流行の際には WHO から要請で演者も現地で隔離診療に携わりました。この時の体験をお伝えし、皆さんに擬似体験をしていただきます。また、2014 年の中央アフリカのギニア湾諸国では米軍が出動するに至るほど過去最大のエボラ流行が起りましたが、何故世界流行が懸念されたか、現在どのような治療法があるか、についてもご紹介します。さらに近年問題となったデュアルユース dual use すなわち悪質な病原体を作成・増殖・散布させ医学知識を人類福祉のためではなく軍事やテロ目的で悪用すること、を防ぐためにどうすべきかなどについてお話します。

言語：日本語 Language: Japanese

関係講座・部門の連絡担当者：分子細胞化学（生化学第二）岡島徹也 内線 2070
Contact: 2070, Department of Biochemistry II
事前の申込は不要です。 No Registration required.

医学部学務課大学院掛
Student Affairs Division, School of Medicine